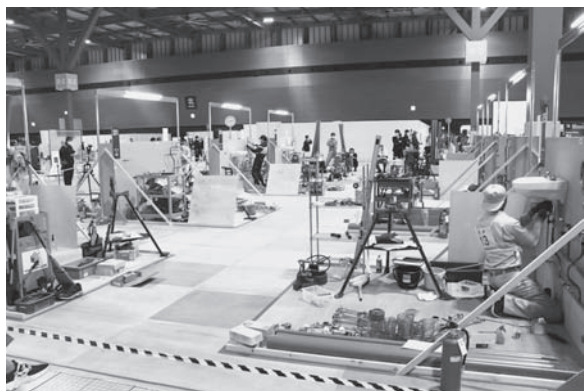


愛知県で36名（配管職種）の青年配管技能者が熱戦を展開!!

- ・板橋 優斗選手（茨城県・株式会社関電工 東関東営業本部 茨城支店）が金賞・厚生労働大臣賞を獲得
- ・愛知県連より会場設営、競技補佐員の派遣など全面的な協力を頂く
- ・新型コロナウイルス感染症対策として無観客で開催

全国管工事業協同組合連合会

第58回技能五輪全国大会（主催：厚生労働省・中央職業能力開発協会、後援：国土交通省、経済産業省他、協力：全管連他）は、11月13日から11月16日までの4日間にわたって、愛知県国際展示場を中心に開催されました。



競技の様子



全設研会員校の生徒等も出場

現役高校生5名、女性1名が出場

この大会は、青年技能者の技能レベルを競うことにより、青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能尊重気運の醸成を図ることを目的とし、技能検定2級レベルの実技で実施される都道府県の予選で優秀な成績を収めて選抜された全40職種・944名の選手が競技に臨みました。

配管職種は、愛知県常滑市の愛知県国際展示場を会場に全国から36名の精鋭が競技に臨み、現役高校生5名、また女性も1名が参加しました。

また、競技会場には、参考課題の実物作品を展示したことで課題の内容が分か

るようにしました。

6時間10分の競技時間

課題への取組みは選手各様

11月13日(金)に選手による競技場所の抽選、工具展開等が行われ、翌14日(土)に競技が実施されました。各選手は、午前8時30分より午後4時45分まで、標準時間6時間10分、打切時間7時間の持ち時間で競技課題図に取り組みました。

競技課題は、競技の内容がわかるように約3ヶ月前に「参考課題」が公表され、さらに変更されたものが「当日公表課題」としてはじめて選手に公表されます。配管競技は、3種類の管、①金



未来を担う若年技能者

属管では配管用炭素鋼管（白）、②非鉄金属管では配管用銅管（M）、③非金属管では給水・排水管として塩化ビニル管（VP・VU）を用いて、給水・給湯・排水配管を課題図の通り加工するものです。当日公表課題が競技開始直前に行われるのが大きな特徴で、選手の緊張もより高まったようです。注意事項などを聞いたのち、各自の競技ブースで待機して8時30分の競技開始のホイッスルとともに当日配布の課題図を見つめて曲げ加工などの原寸図を作成し、その後は各人様々な作業手順で競技に臨みました。

緊張高まる公開水圧審査を経て順位が確定

競技終了後は、公開水圧審査が行われ、その後行われた測定審査で精度等を測り、主催者による成績会議において順位が確定し、11月16日の閉会式（無観客）において、板橋 優斗選手（茨城県・株式会社関電工 東関東営業本部 茨城支



愛知県連青年部等に協力を頂く

店）が金賞・厚生労働大臣賞に輝きました。

全管連会員組合・愛知県連青年部が会場設営、運営に協力

主催者からの要請に基づき、本会より渡邊弘幸氏（東京都・連）、金子達之輔氏（同）が競技委員として課題作成、競技実施、採点審査等を行いました。また、会場設営、競技運営について愛知県連のご協力のもと、愛知県連青年部の各位にも多大なるご協力を頂きました。

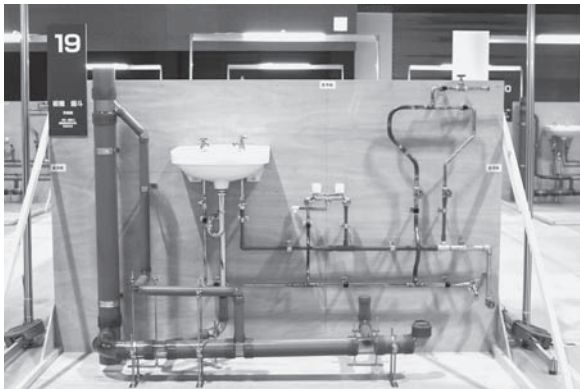
次の大会は、来年12月に東京都で開催される予定です。

入賞者（敬称略）

*印は、本会会員企業



公開水圧審査

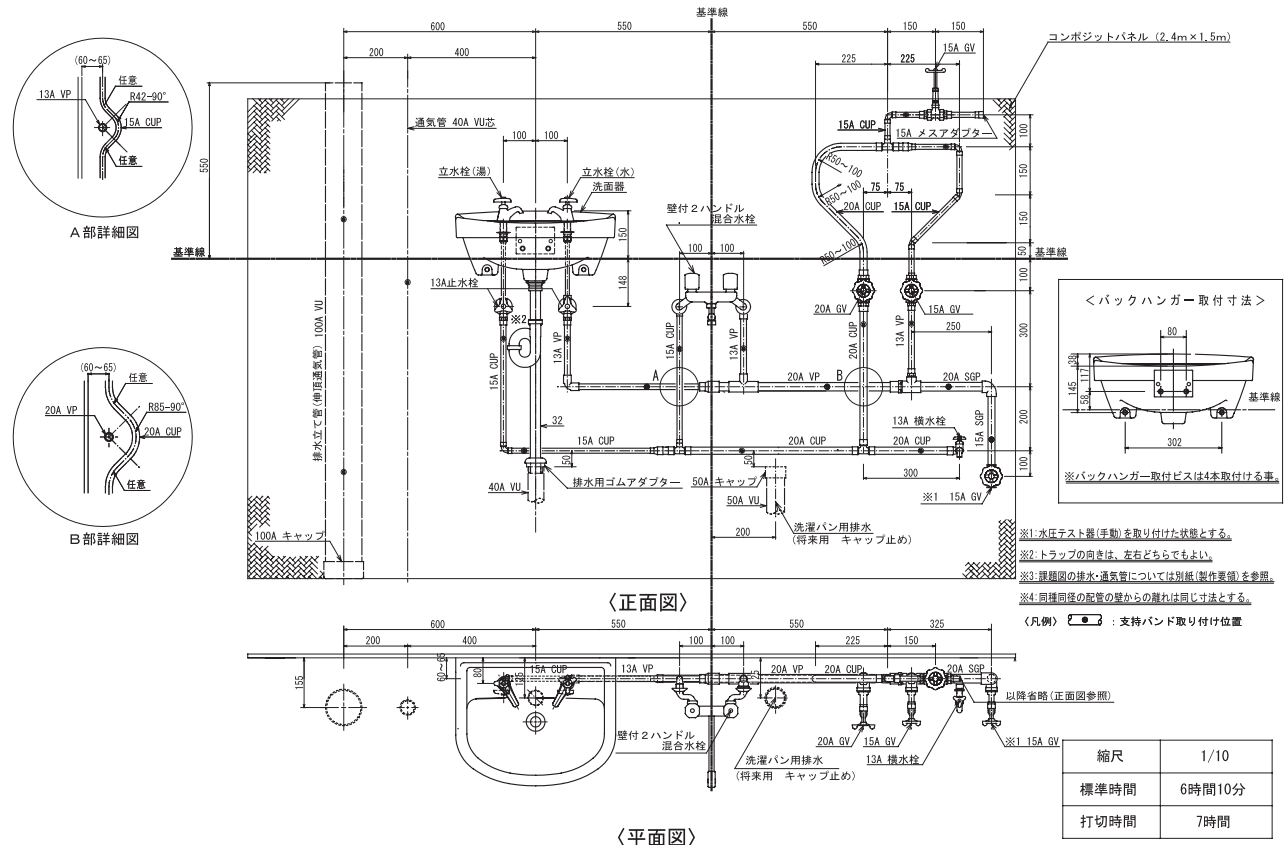


優勝作品

順位	都道府県名	選手氏名	所属先
金賞	茨城県	板橋 優斗	株式会社関電工 東関東営業本部 茨城支店
	東京都	嶺井 政明	西原工事株式会社
銀賞	栃木県	益子 亮太	株式会社関電工 北関東・北信越営業本部 栃木支店
	栃木県	小田原 溪太	株式会社関電工 北関東・北信越営業本部 栃木支店
銅賞	岩手県	千葉 浩斗	岩手県立産業技術短期大学校 水沢校
	東京都	宮永 優馬	西原工事株式会社
	栃木県	石井 悠貴	栃木県立宇都宮工業高等学校
敢闘賞	広島県	東谷 幸憲	*広島市指定上下水道工事業 協同組合
	東京都	及川 裕己	西原工事株式会社
	愛知県	大川 喜紀	*武田機工株式会社 滝工場 現業部
	愛知県	黒柳 太稀	*武田機工株式会社 滝工場 現業部
	山口県	中能 七海	株式会社桐田商会
	石川県	飯田 大翔	有限会社剛配管設備工業

当日公表

第58回技能五輪全国大会「配管」職種競技課題図



競技大会の様子



競技説明



材料確認



工具展開



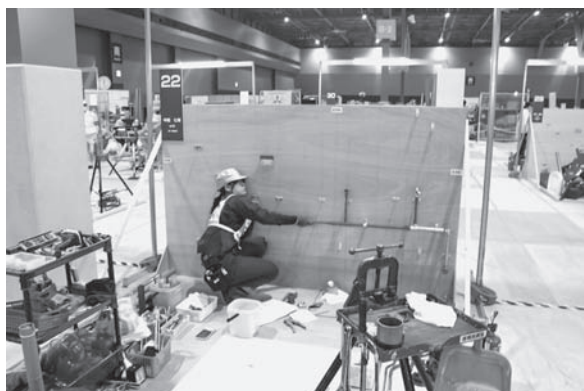
参加証授与



競技風景



競技風景2



競技風景3



競技風景4